ダイジェスト版

2009年度厚生労働科学研究補助金(特別研究)

新人看護職員研修の あり方に関する研究 **調査結果報告** 

〈主任研究者〉青森県立保健大学上泉 和子



### 調査概要

本研究は、新人看護職員の教育および研修の実態を明らかにするとともに、施設種別・規模に関わらず導入可能となる多様な新人看護職員研修プログラムのあり方を提示することを目的とし、医療機関等の種別・規模別に新人看護職員の研修実施状況から、医療機関等における研修実施上の課題を整理し小規模医療機関等においても導入可能となる多様な新人看護職員研修プログラムのあり方を提示するものである。

回収率		配布数	回収数	回収率(%)			
	体	8.697	1,334	(15.3)			
施設和	理者	2,788	324	(11.6)			
看護士	<b>建理者</b>	2,788	447	(16.0)			
教育	日当者	1,757	280	(15.9)			
実地打	台導者	682	162	(23.8)			
新人看	護職員	682	121	(17.7)			

#### 医療機関における新人看護職員の研修実施調査

- ■病院(1.757施設) ■有床診療所(564施設)
- ■老人保健施設(470施設)
- 施設における職員研修の実態調査(アンケート) 〈調査対象者:施設管理者(施設長)〉
- 新人看護職員の研修体制実態調査(アンケート) 〈調査対象者:看護部門の教育責任者〉
- C. 新人看護職員の看護単位における研修実態調査(アンケート) (調査対象者:著護単位(病権)の教育担当者)

#### 病院における新人看護職員の業務等実態調査

- ■県病院(62施設(682組))
- 新人看護職員の指導実態調査(アンケート)〈調査対象者実施指導者〉
- 新人看護職員の業務分析調査(アンケート)〈調査対象者:新人看護師〉



20 集合研修 OJT 院外研修 実施なし 集合研修 OJT 院外研修 実施なし 集合研修 OJT 院外研修 実施なし 集合研修 OJT 院外研修 実施なし

看護職員の研修実施率は、施設種別・規模を問わず、医師、 その他の医療職、事務職に比べて、高い結果でした。

■病院200床未満 ■病院200~389床 ■病院400庆以上 ■診療所 ■老人保健施設

新人研修プログラムの有無について、全体では「ある」 の回答が66.8%、「ない」が28.3%でしたが、診療所お よび老人保健施設において新人研修プログラムを有し ている割合は少なく、新人研修プログラムのない施設は、 ほとんどが新人看護職の採用がありませんでした。

## 研修プログラムの有無



新人看護職員研修に関する意識は「関心がある」「重要に思う」「協力的である」という回答が8割以上と多く、施設規模が大きいほど、その割合は高くなっていました。

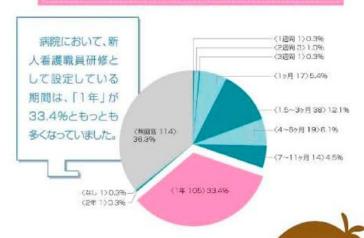
「負担に思う」という回答は約6割であり、特に看護 管理者は、他の役職に比べて「負担に思う」割合が高 くなっていました。

新人看護師は、周囲の新人看護職員研修に関する 意識について、「関心がある」「重要に思う」「協力的 である」と感じており、周囲から負担に思われている と感じているのは半数以下でした。

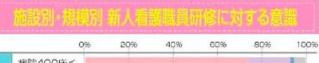
### 新人看護職員研修に対する意識

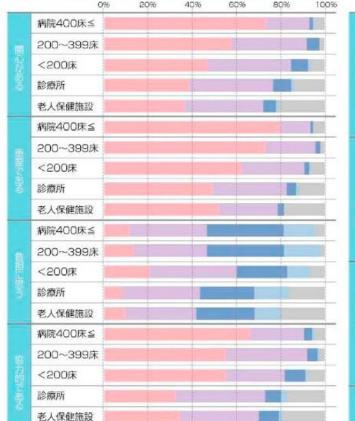


### 病院における新人看護職員研修期間

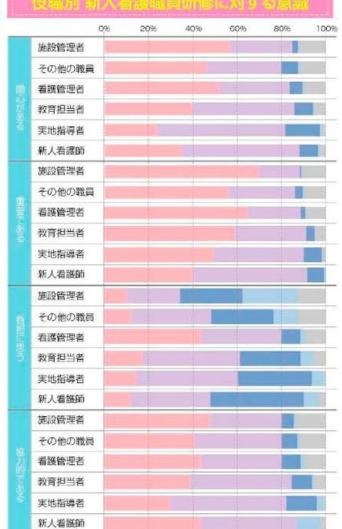


新人看護職員の日常的な 研修方法は、多様な結果とな りました。、4月初旬から「他の Nsと同様に患者を受け持つ」 施設もある一方で、先輩Nsの サポートを受けながら業務す る期間は、長い施設では、1年 半まで続いていました。





■とてもそう思う 間そう思う ■そう思わない ■全くそう思わない ■無回答



■とてもそう思う ■そう思う ■そう思わない ■全くそう思わない ■無回答

### 新人看護職員の日勤および夜勤業務の研修方法と実施時期



# 新人看護職員研修における研修項目の実施率と実施時間

厚生労働省「新人看護職員研修ガイドライン」に示されている研修項目について、各施設が新人看護職員研修として実施して いる割合と実施時期は、下図のとおりでした。

| この図の見方 | 日答のあった期間を | 「で示し 日答領度の高かった期間(四分位義用)を で示す。

実 施 率

※字項目は、「坊人看揮取員研修ガイドライン」において1年以内に「できる」レベルの習得を目指す項目

男子項目は、「新人者復取員研修ガイドライン」において1年以内に「演習できる」レベルの避得を目指す項目 黒字項目は、「新人者復取員研修ガイドライン」において、1年以内の経験およびレベル習得は目指していない項目

実 施 時 期

90% 80% 70%	60%	4月	5H	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2Ħ	3)
	看護職員としての自覚と責任ある行動												
	組織における役割・心構えの理解と適切な行動		$\vdash$			0 0							1
	医療廃棄物の規定に沿った適切な取扱い												
	転倒転落防止策の実施												1
	歩行介助・移動の介助・移送												
	スタンダードブリコーションの実施												
	部分浴・陰部ケア・おむつ交換						-						
DEL CO	針刺し事故防止対策と事故後の対応												
	誤薬防止の手順に沿った与薬			1									
	創傷処置			- 1	-								
	血糖値測定と検体の取り扱い												0
	導尿												
	浣腸												
	体位変換												F
	清拭												1
	経口葉、外用葉の与葉、直腸内与薬		1-3										
	必要な防護用具の選択												
	自然排尿·排便援助												1
	口腔ケア												
	酸素吸入療法				5								
	吸引(気管内、口腔内、鼻腔内)	4											
	意識レベルの把握												
	バイタルサインの観察と解釈		-										
	パルスオキシメーターによる測定												
	安楽な体位の保持												
1	洗浄・消毒・滅菌の適切な選択												
	療養生活の環境調整												
	寝衣交換等の衣生活支援、整容			-									
	褥瘡の予防												
	皮下注射、筋肉内注射、皮内注射												
	静脈血採血と検体の取扱い		Mary State of the Control of the Con			Q 1							1
	患者誤認防止策の実施												
	適切な感染管理に基づいた感染防止												
	膀胱内留置カテーテルの挿入と管理		-										
	入浴介助												
	採尿・尿検査の方法と検体の取扱い												
	食生活支援		1										
	食事介助												
	患者の理解と良好な人間関係の確立												
	体動、移動に注意が必要な患者への援助		We .										
	体温調整												
	気道確保												
	ベッドメーキング												
2.0	洗髪											_	10.



施設において実施されている新人看護職員研修は、厚生労働省「新人看護職員研修ガイドライン」に示されて いる研修項目すべてにおいて60%以上の実施率でした。また多くは、4~5月に集中して実施されていました。

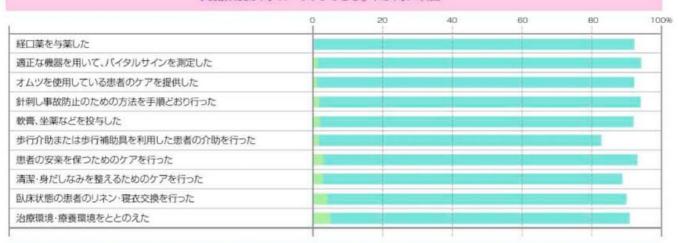
研修実施時期は、施設の状況により異りますが、全体としては、1年以内に「できる」レベルを目指す赤字項目 は実施率が高いものが多く,新人看護職員のめざす到達の目安に一致します。研修実施時期は,4~5月が過密 状況であり、1年以内に修得を目指していない黒字項目は研修時期を分散させることができるのではないかと 考えます。また、状況判断や状況にそった行動など、内容により継続的・反復的な研修が求められる項目は、研修 実施時期の分散と反復研修が必要です。

実 施 率		A.						美	施時	期				
90% 80%	70% 609	6	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3
1		家族への配慮や助言												
		摘便			1									
1		ネブライザーの実施			- 1									
		人工呼吸			-				_					
		身体計測		1 3										
		心電図モニター・誘導心電図の装着、管理												
		思者への十分な説明と思者の選択への支援					1 3	$\vdash$	1					
1		抗生物質の用法と副作用の観察			7									
		経管栄養法			3	-								
		インシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察					-						1	
		安全確保対策の適用の判断と実施					<u> </u>							
		事故防止に向けたコミュニケーション												
		入眠、睡眠の援助		31	1 - 2									
		薬剤等の管理					-							
	-	罨法等身体安楽促進ケア				-			1					
		無菌操作の実施		3										
		閉胸式心臓マッサージ							-					
		関節可動域訓練·廃用性症候群予防				-								
		患者にとって安楽な看護技術の実施						-						
		チームメンバーへの応援要請												
		看護計画の立案と正確な記録と評価			1				-	1			13	
		科学的根拠と観察に基づいた看護技術の必要性		N. S										
		看護技術の正確な熟知と実施によるリスク防止							_				6	-
		患者の特性や状況に応じた看護技術の選択と応用	7						-					
		精神的安寧を保つための看護ケア			1									
		安全管理							-					
		災害·防災管理								$\vdash$				
		薬剤等の管理												
		気管挿管の準備と介助												
1		物品管理	1						18-					
		リラクゼーション												
		生涯にわたる主体的な自己学習の継続												
		体位ドレナージ												
		情報管理		-					_					
		輸液ポンプの準備と管理			- 9									
		業務管理												
		包带法			- 3									
		コスト管理	4											
		止血												
		薬剤・放射線暴露防止策の実施												
		麻薬の主作用・副作用の観察					- 18							
		中心静脈内注射の準備・介助・管理												
		動脈血採血の準備と検体の取扱い										7		
		輸血の準備、輸血中と輸血後の観察											5	
		州山の平浦、朝山中と朝山後の武宗 人工呼吸器の管理		-										



# 長践の状況 (180看護業務項目より抜粋)

#### 実施頻度が高く「一人でできる」率が高い項目

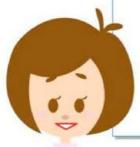


#### 新人看護職員が1年以内に修得を目指す項目のうち、「経験なし」が多い項目



新人看護師の業務実践の状況は、日常生活の援助、安全、および与 薬に関する項目の実施頻度が高く、「一人でできる」レベルでした。 一方で、「急変時の医療処置の介助」など、1年以内に経験すること

を目指す項目であっても、「経験なし」が多い項目については、施設お よび配置状況によりやむを得ないことが想定されますが、研修期間 中に経験できるように、所属部署以外での研修を実施するなど、研修 機会を検討する必要があります。



なお、本報告書は、ダイジェスト版として、抜粋掲載したものです。 詳細は、研究者の所属施設のホームページ

(http://www.auhw.ac.jp/)上にて近日中に掲載する予定 ですので、ご参照ください。

この報告書(ダイジェスト版)及び研究へのお問い合わせ先

〒030-8505青森市浜館間瀬58-1 青森県立保健大学 鄭 佳紅 FAX.017-765-2249 E-mail k\_tei@auhw.ac.jp

